

令和3年度 苫小牧市文化交流センター運営協議会（書面会議）会議概要

基準日：令和4年3月30日（火）

審議委員：今田会長、高橋副会長、宮脇委員、岡田委員、佐久間委員、佐藤委員、
田中委員、橋場委員、深瀬委員、脇田委員

※本協議会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参集しての
会議を中止し、書面にて会議を開催しました。

1 議 事

(1) 令和3年度苫小牧市文化交流センター事業報告及び利用状況報告

(ア) 市民カレッジ講座及び子ども体験教室は主催事業のうちでも特に重要な位置を占める
ものと認識して企画しています。

昨年度はコロナのための休館で前期講座はやむなく全講座を中止しましたが、今年度は
多少影響を受けつつも前期は14講座中10講座を、後期は13講座中9講座を、こども体
験教室は前後期とも5講座中3講座を何とかやり切りました。

(イ) 人気イベントとなっている夏・冬休み中恒例の「子どもヒップホップジャズダンス」も
新講師のもと例年どおり開催しました。

(ウ) 懸案だった「あいボラ※」も利用者とのやり取りがきっかけとなり、市内高校のボラン
ティア局の生徒18名の参加を得て、令和4年度に向けて10講座を企画できました。

※「あいボラ」とは「アイビー・プラザ学習ボランティア養成企画」に参画した市民がアイビー・
プラザと共同で講座を企画するものです。募集してもボランティアの応募がなく長年実現し
ませんでした。

(エ) サークル活動支援の一環として、あまり活用してこなかった北プチギャラリーで「サー
クル活動展」を開始しました。サークル活動のPRを通じてサークルの活性化と会員増に
つながることをねらいとしています。

(オ) 恒例の自主事業「健康麻雀入門教室」「基礎ステップから学ぶ楽しいフォークダンス」等
は感染防止に配慮して人数や回数に制限を設けつつ開催しました。

(カ) コロナのため「アイビーサークルまつり（8月）」は前年に続き中止となりましたが、独
自事業「アイビー文化祭（10月）・クリスマス展（12月）・ひなまつり展（2・3月）」は出
展数が少ないながらも計画どおり開催しました。

(キ) 長生大学の入学式はコロナのため新入生のみの出席で執り行い、休館中の講座と大学祭、
校外研修は中止しました。

(ク) 高齢者主張発表会は7名の発表者から個性豊かで示唆に富んだ発表をしていただきま
した。また、例年招待していた看護学校生は3密回避のため案内はしませんでした。

(ケ) 利用者アンケートは例年と同じ10月の1か月間で行いました。平均満足度は96.7%
（前年97.4%、前々年96.0%）と今年も高い評価をいただきました。これに慢心すること
なく今後も積極的に課題解決に取り組んでまいります。

また、前年同様30～50代、いわゆる働き盛りの年齢層の利用が増えています
17%（前年12%、前々年2%）。理由は①コロナの影響で3密回避のために多目的ホールや

講習室など、より広い部屋の利用ニーズが増えた ②これまでは自社の会議室等を利用していたがソーシャルディスタンスが確保できて、衛生や安全面で信頼できる場所として当館が求められたからではないかと考えます。

今後も、3密を回避し、安心して利用できる場所として信頼していただけるよう努めてまいります。

〈意見等 … なし〉

〈結果 … 委員 10 名中 承認 10 名で承認される〉

(2) 令和4年度苫小牧市文化交流センター事業計画

(ア) 推進方針は今年度を踏襲して、①条例に則り設置目的の達成、②新型コロナウイルス感染拡大防止と文化活動推進の両立を図ります。

(イ) 学習活動はじめ自主事業、独自事業、高齢者学習、文化芸術事業の推進、施設の適正な管理運営の推進は今年度の取組みを踏まえ、より利用者目線に立って利用者の声に耳を傾けつつ広く市民に親しまれ必要とされる施設であるよう計画しています。

(ウ) 高校生が企画した「あいボラ」講座を運営にも携わってもらいながら開催するよう計画しています。

〈意見等 … なし〉

〈結果 … 委員 10 名中 承認 10 名で承認される〉